

1. 科目名 (単位数)	更生保護 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP4101 SCMP4301 SBMP4301 PSMP4401
2. 授業担当教員	久保 貴		
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答、途中確認テスト・小テストの併用、期末に試験を行う。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	犯罪や非行をした人の立ち直りを図り、再び犯罪や非行を起こさせないようにするには、その素質、環境を考慮しつつ、その人に必要な各種の支援、福祉でいう自立支援が必要である。これらの支援は、警察、検察、裁判、矯正の各段階で行われているが、本科目では、この内の社会の中での働きかけ(処遇)を中心とする更生保護制度について、その概要、担い手、関係機関・団体との連携、また、心神喪失等の状態で重大な犯罪を行った人の社会復帰の促進を目的とする医療観察制度の概要、さらには、更生保護制度の運用の実際と今後の展望等について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 福祉との関連において必要とされる更生保護制度の基礎的知識について理解し、説明することができるようになる。 更生保護の組織を中心に、刑事司法・少年司法分野で犯罪前歴者等の支援活動に関与する組織、団体及び専門職について理解し、説明することができるようになる。 更生保護制度における関係機関・団体との連携のあり方について理解し、説明することができるようになる。 保護観察所が担う新たな役割として、福祉機関・団体などとの密接な連携の下に実施される被害者支援や医療観察制度について理解し、説明することができるようになる。 更生保護の運用の実際と今後の展望について考察し、自分の言葉で表明することができるようになる。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	アサシメントとしては、講義前にはテキストの該当箇所を読み、講義後は知識の定着を図るため、再度、テキストやレジュメに目を通す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャル卒教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉 (第 2 版) 』中央法規出版、2025。 【参考書】 日本更生保護学会編『更生保護学事典』成文堂、2021。 法務省法務総合研究所『令和 7 年版犯罪白書』 https://www.moj.go.jp/content/001451875.pdf 藤本哲也・生島浩・辰野文理編著『よくわかる更生保護』ミネルヴァ書房、2016。 松本勝編『更生保護入門 [第 6 版]』成文堂、2022。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] <ol style="list-style-type: none"> 授業への積極的参加 総合点の 20% 期末試験 総合点の 40% 課題レポート 総合点の 20% 日常の学習状況 総合点の 20% 		
12. 受講生へのメッセージ	聞きなれない法律用語等が数多くあると思いますが、なるべくわかりやすく図表を用いて説明したいと思っておりますので、わからない用語については積極的に質問して下さい。		
13. オフィスアワー	授業において周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 「刑事司法と福祉」総論	事前学習	シラバス、教科書の「刑事司法と福祉」総論を読んで授業に臨む。
		事後学習	オリエンテーションで学んだことを整理するため、再度、教科書の該当箇所を読み直す。
第 2 回	犯罪と刑罰	事前学習	教科書の「犯罪と社会」・「刑罰とは何か」を読んで授業に臨む。
		事後学習	犯罪と刑罰について学んだことを整理するため、教科書及び参考書の該当箇所を読み直し、質問等があればまとめる。
第 3 回	司法制度 刑事司法と少年司法	事前学習	教科書の「刑事司法」、「少年司法」を読んで授業に臨む。
		事後学習	刑事司法および少年司法の内容について復習し、重要箇所をまとめる。
第 4 回	犯罪原因論 1 生物学的要因、心理学的要因	事前学習	教科書の「犯罪原因論と対策」を読んで授業に臨む。
		事後学習	犯罪原因論のうち生物学的要因および心理学的要因に関して、要点をまとめる。
第 5 回	犯罪原因論 2 社会的要因	事前学習	教科書の「施設内処遇 1」を読んで授業に臨む。精読しておく。
		事後学習	成人に対する施設内処遇の内容について、要点をまとめる。

第 6 回	施設内処遇 1 成人	事前学習	教科書の「施設内処遇 2」を読んで授業に臨む。
		事後学習	少年に対する施設内処遇の内容について、要点をまとめる。
第 7 回	施設内処遇 2 少年	事前学習	教科書の「社会内処遇」を読んで授業に臨む。
		事後学習	更生保護制度の意義および内容についてまとめる。
第 8 回	社会内処遇 1 更生保護制度の意義	事前学習	教科書の「社会内処遇」を読んで授業に臨む。
		事後学習	仮釈放制度及び生活環境の調整についてまとめる。
第 9 回	社会内処遇 2 仮釈放、生活環境の調整	事前学習	教科書の「社会内処遇」を読んで授業に臨む。
		事後学習	保護観察、更生緊急保護、恩赦についてまとめる。
第 10 回	社会内処遇 3 保護観察、更生緊急保護、恩赦	事前学習	教科書の「社会内処遇」を読んで授業に臨む。
		事後学習	保護観察の全体像および実際の処遇についてまとめる。
第 11 回	社会内処遇 4 保護観察の実際	事前学習	教科書の「多様なニーズを有する犯罪行為者 1」を読んで授業に臨む。
		事後学習	医療観察制度における処遇の流れと内容についてまとめる。
第 12 回	医療観察制度 1 医療観察制度の流れ	事前学習	教科書の「多様なニーズを有する犯罪行為者 1」を読んで授業に臨む。
		事後学習	前回の流れを踏まえ、社会復帰調整官による精神保健観察、関係機関との連携についてまとめる。
第 13 回	医療観察制度 2 社会復帰調整官の機能	事前学習	教科書の「犯罪被害者等支援」を読んで授業に臨む。
		事後学習	犯罪被害者に対する施策についてまとめる。また、最終講義へ向け、質問等があればまとめておく。
第 14 回	犯罪被害者への対応	事前学習	更生保護制度全体について、まとめておく。
		事後学習	総復習を行う。
第 15 回	まとめ	事前学習	教科書の「施設内処遇 1」を読んで授業に臨む。精読しておく。
		事後学習	成人に対する施設内処遇の内容について、要点をまとめる。
期末試験			